

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 生活習慣病医療連携推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内3318)

E-mail : c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,150 千円 (前年度予算額) 3,152 千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	3,152	826	0	0	0	0	1,500	0	826
要求額	3,150	825	0	0	0	0	1,500	0	825
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県保健医療計画に示す5疾病のうち、がん、脳卒中、急性心筋梗塞に関して、疾病別に病態・病期、関係機関ごとに必要な保健医療福祉機能を明らかにし、地域における切れ目のない医療連携体制を構築することにより、生活習慣病の重症化予防を図る。

さらに、循環器病対策の総合的な推進を図るために、循環器病対策のあり方に関する協議会を開催し、疾病による死亡や国民が介護を要する状態となる主要な原因である脳卒中や心臓病対策のあり方を検討するとともに、関係機関と連携し、予防から生活期までを見据えた保健医療等の連携体制を構築する。

(2) 事業内容

- ア 循環器対策推進協議会及び部会（脳卒中・心臓病）の開催（協議会1回／年、部会各2回）
- イ 循環器病診療連携構築体制の構築
 - ・かかりつけ医の総合診療を中心とした疾患管理体制の構築支援
- ウ 心臓リハビリテーションネットワークの構築
 - ・心臓リハビリテーションに従事する人材の育成
 - ・心臓リハビリテーションに関する地域連携ツールの作成及び活用
- エ 圏域内の医療連携支援ネットワークの支援
 - ・圏域毎に保健医療福祉関係者で構成する協議会を開催し、課題に対する方策や地域の特性に応じた医療連携体制について協議
 - ・地域連携クリティカルパスの運用状況の情報収集

(3) 県負担・補助率の考え方

第8期岐阜県保健医療計画及び第2期岐阜県循環器病対策推進計画において、保健・医療・福祉に係る医療提供体制の充実を基本施策としており、県が負担することは妥当である。

ア及びイ：国庫補助1/2（感染症予防事業費等国庫負担（補助）金）

ウ：国庫補助2/3、県1/3（地域医療介護総合確保基金）

エ：国庫補助1/2（医療提供体制推進事業費国庫補助金）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	525	委員及び講師報償費
旅費	72	委員及び講師費用弁償、業務旅費
需用費	25	事務消耗品、印刷製本費
役務費	28	電話・郵送代
委託料	2,500	診療体制・ネットワーク構築、心臓リハビリテーション事業
合計	3,150	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第8期岐阜県保健医療計画
- ・第4次ヘルスプランぎふ21
- ・第2期岐阜県循環器病対策推進計画
- ・第4次岐阜県がん対策推進計画

(2) 国・他県の状況

国：令和5年4月 第2期循環器病対策基本計画を策定

他県：令和6年3月 第2期都道府県計画を策定

(3) 事業主体及びその妥当性

実施主体：県

循環器病対策推進計画の各種目標の実現・達成のためには、県での実施が妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・がん、脳卒中、急性心筋梗塞に関して、地域で切れ目のない保健医療福祉等のサービスを受けられるよう、各圏域において医療連携体制の構築を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H27)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①健康寿命の延伸	男性72.89年 女性75.65年 (H27)	男性73.09年 女性76.20年 (R4)	増加	増加	平均寿命の增加分上回る増加	-
②虚血性疾患に関する年齢調整死亡率の減少	男性84.1 女性38.2 (H27)	男性57.8 女性26.0 (R2)	減少	減少	-	-
③脳血管疾患に関する年齢調整死亡率の減少	男性115.1 女性72.0 (H27)	男性87.0 女性57.8 (R2)	減少	減少	-	-

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	岐阜県循環器病対策推進計画の進捗管理のための協議会・部会を開催。循環器病診療の実態把握のための調査を行った。また、関係機関・関係者の循環器病対策への理解促進を目的としたセミナーを開催。
	指標① 目標：平均寿命の增加分上回る増加 実績：男性 平均寿命の增加分0.9年、健康寿命の增加分0.2年 達成率21% 女性 平均寿命の增加分0.7年、健康寿命の增加分0.5年 達成率77%
令和5年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %※平均寿命が公表前であり、達成率を求めることが困難 協議会及び部会を開催し、第1期循環器病対策推進計画の評価と次期計画策定に向けた検討を行った。循環器病診療実態把握調査の結果を共有し、地域の課題解決のための協議を進め、第2期岐阜県循環器病対策推進計画を策定し、3月公表に至った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %※平均寿命が公表前であり、達成率を求めることが困難
令和6年度	協議会を開催し、第2期岐阜県循環器病対策推進計画の取組方向性の確認と、県循環器病対策のさらなる推進のための新たな体制について合意を得た。また、心疾患対策WGを設置し、かかりつけ医における診療水準の均一化と、ガイドラインに即した血圧・脂質管理の徹底のための検討を行った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %※平均寿命が公表前であり、達成率を求めることが困難

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	県民の死亡の原因及び介護を要する状態となる主な原因である循環器病の予防・医療等の体制を構築することは必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	実態把握に裏付けられた新たな事業展開を開始するに至っている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	圏域毎に健康課題、医療提供体制等に特徴があることから、各圏域の実情に応じた施策を効率的に取り組むことが必要である。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

循環器病対策推進計画の進捗を確認しながら、地域の実情に応じた予防・医療体制の整備、情報の収集・提供などの取組を着実に推進する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
循環器病に関する地域の課題等は明らかとなった。次年度は、実情を反映させた各施策を関係機関と連携し実施することが必要。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	